資料1

令和6年度出水期の概要

令和7年3月

2024年（令和6年）度の台風状況について

■ 2024年の台風は、8月は発生数及び接近数、上陸数ともに平年値を上回ったものの、年間発生数及び接近数、上陸数（R6年12月17日現在）はいずれも平年値をやや下回る傾向にあった

平年値

1951年から2023年までの平均

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数（注1）	0.4	0.3	0.4	0.7	1.0	1.8	3.8	5.5	4.9	3.8	2.3	1.2	26.0
接近数（注2）					0.1	0.4	1.0	1.9	1.6	0.8			5.6
上陸数（注3）						0.2	0.5	1.0	0.9	0.2			2.9

2024年

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数（注1）					2		2	6	8	3	4		25
接近数（注2）								3		1			4
上陸数（注3）								2					2

赤数字：平年値（1951年～2023年の平均）と同値・上回るもの

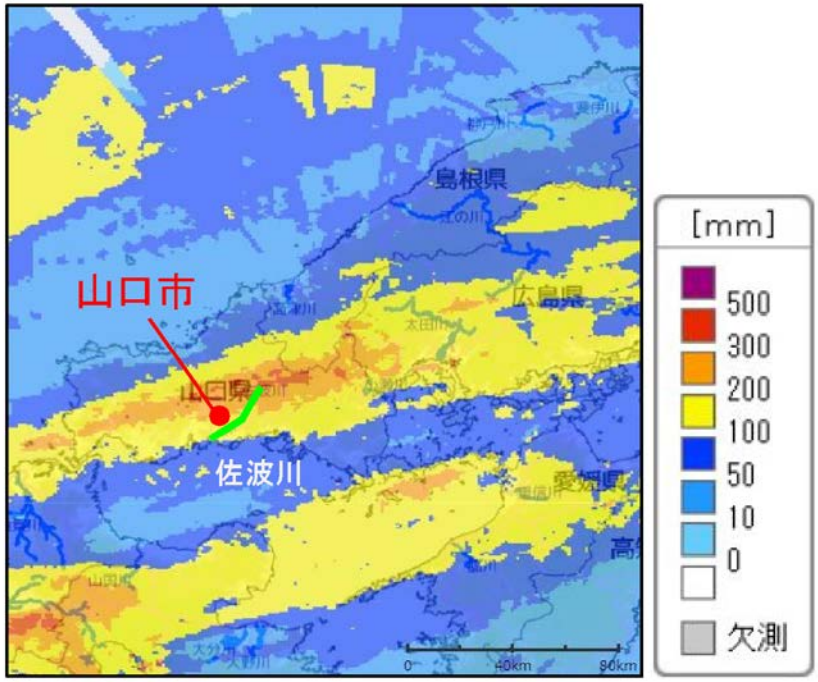
（注1）発生：協定世界時（UTC）を基準
（注2）接近：台風の中心が北海道、本州、四国、九州の気象管署等から300km以内に入った場合（本土に接近した台風）
接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない
（注3）上陸：台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合
ただし、小さい島や半島を横切って短時間で再び海に出る場合は「通過」

出典：気象庁　台風の統計資料　https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/typhoon/statistics/index.html
「台風の平年値」、「台風の発生数」、「台風の接近数」、「台風の上陸数」（2024年12月17日現在）

中国地方に影響を及ぼした豪雨
①令和6年7月1日出水の大雨（気象概況）

- 6月29日から7月2日にかけて、梅雨前線に向かって流れ込む湿った空気の影響で前線の活動が活発化し、中国地方全域で大雨となった。
- 山口県では、1日24時までの48時間に累加雨量で300ミリを超える大雨が発生した。
- 佐波川では、氾濫危険水位である4.00mを超過する4.06m（令和6年7月1日6時50分）を記録した。

■累加雨量図（レーダ雨量）【国土交通省作成】

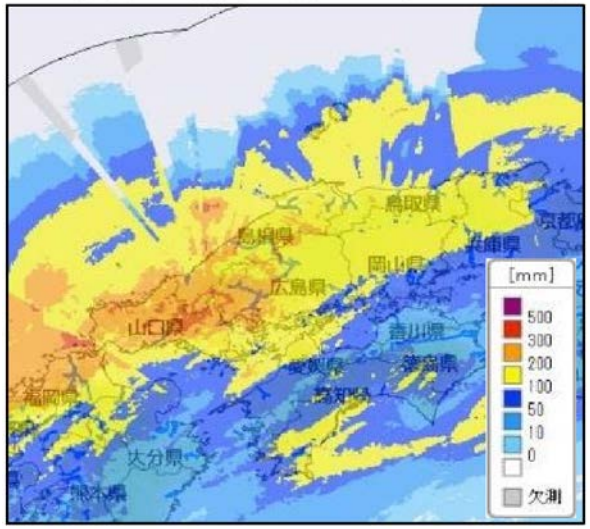


出典：中国地方整備局「令和6年7月1日からの大雨による出水（梅雨前線）
中国地方整備局管内の出水概況【第1報】7月4日（木）14時現在」

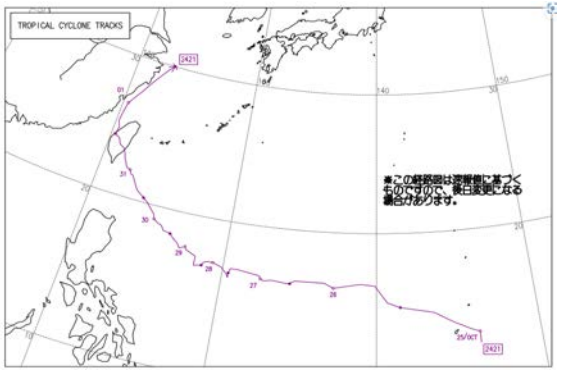
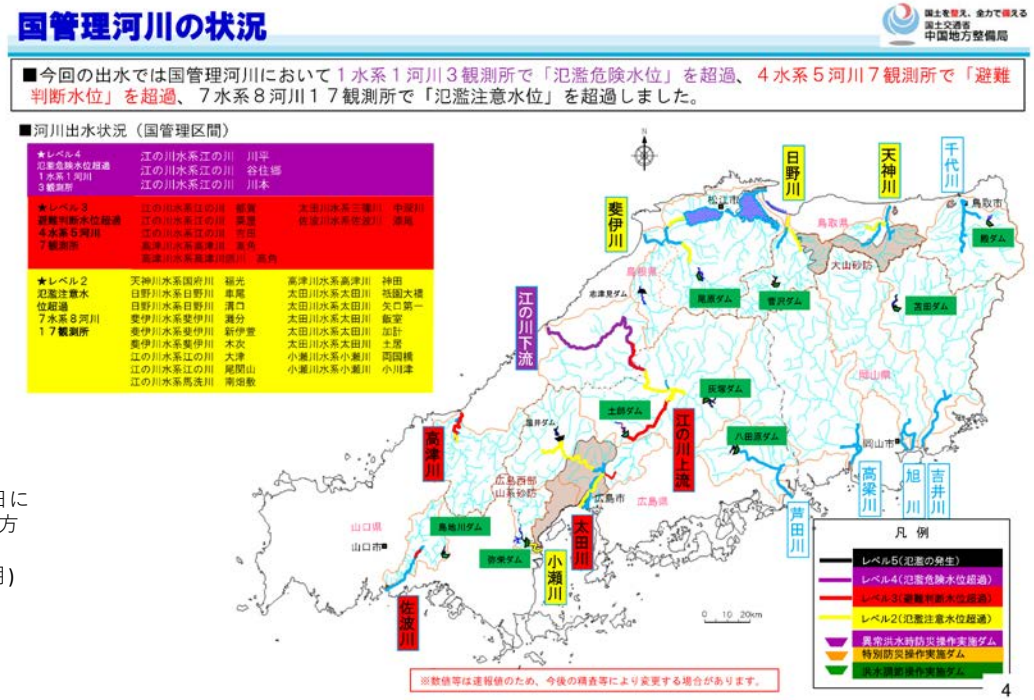
中国地方に影響を及ぼした豪雨
②令和6年11月1日出水（気象概況）

- 令和6年11月1日から2日にかけて、西日本に停滞する前線上を台風第21号から変わった低気圧が進んだことにより、中国地方では、200mm/24時間（1日12時から2日12時）を超える大雨が発生した。
- 江の川水系江の川では、谷住郷水位観測所において氾濫危険水位を超過した。
- 佐波川水系佐波川では、漆尾水位観測所において、避難判断水位を超え、11月としては1ヶ月分累加雨量の平均値の3倍に匹敵する大雨が発生した。

■24時間累加雨量図（11月1日12時から2日12時）



出典：令和6年11月1日から2日にかけての大雨、中国地方整備局管内の出水概況【第１報】 11月11日(月)



出典：気象庁台風経路図（令和6年台風第21号）